

国会闘争速報

2006年10月25日 第7号

発行：全国労組交流センター

東京都台東区元浅草 2-4-10 五宝堂・伊藤ビル5F

TEL 03-3845-7461 FAX 03-3845-7463

kokkaitousou@yahoo.co.jp にアドレスを送ってください。連日、「国会闘争速報」をメールします。

教基法特別委 25日から審議始まる

30日首相出席で質疑、31日強行採決狙う

教育基本法改悪案の審議入りが決まりました。10月25日に衆院特別委員会での趣旨説明を行い、30日に安倍首相出席のもとで午前・午後計6時間の質疑を行うというものです。政府・与党は、31日には「すでに十分な審議時間を費やした」として、委員会採決―衆院本会議での強行採決にうって出ようとしています。

が最重要課題に掲げる教基法改悪にまず全力を注ぐためです。教基法改悪が通れば、共謀罪など他の法案にも一気に拍車がかかるのは間違いありません。

安倍政権が恐れているのは教育労働者の現場からの大反乱であり、この闘いが戦争・改憲と「格差拡大社会」の現実に対する全労働者の怒りと結びつくことです。だからこそ彼らは、焦りに焦っています。国会前の闘争と11・5集会の大爆発で迎え撃ちましょう。

嵐の中、国会前に人垣350人

24日 北海道教組70人など続々座り込み

ハンスト団と共謀罪反対行動とのジョイント集会も

他方で衆院法務委員会は、共謀罪の審議を後回しにすると決定しました。これも、安倍政権

ハンスト6日目も朝9時から元気よく闘われた。すでに4日目のハンストとなる都立高校教員歴30年のFさん、前日から2日連続となる兵庫のKさん、そしてこの日が初めての、川崎で

私立高校の教員をしていたIさんの3名だ。共謀罪反対の座り込みも隣りで始まり、旗や横断幕がにぎやかに林立。



●北海道教組の発言
昨日、北海道人事委員会が「君が代」の処分取り消しの採決を下すという画期的なことがあった。しかし教基法が改悪されればこうした不当な強制を違法としたこの決定がまったく意味なくなってしまう。中央でも、地方でも運動をさらに大きくして廃案にもちこまねばならない時と思います。

12時になると、ハンスト座り込み行動と共謀罪反対共同行動のジョイント（合同）集会が60名の参加で行われた。強行採決が狙われている2大悪法に対する怒りと決意が次々語られる。集会中に日教組の座り込み団が次々やってくる。

13時から日教組の集会が始まった。注目されたのは補欠選挙があった大阪の発言である。「自民党は政策論議まったくし

ない。自治労、日教組、労働組合批判の一点だった」とのこと。参加者の怒りが新たになる。また北海道教組は70名の大部隊で登場。本部の方針をのりこえて国会行動に立ち上がる県教組が増えてきた。安倍政権への現場の怒りが高まっている証拠だ。

夕方にはさらに人が増えた。16時から共謀罪反対共同行動の集会が始まり、関西生コンや港合同、動労千葉など闘う労働組合からの発言も盛り沢山。16時50分からハンスト団の集会、その20分後には反戦共同行動委の集会と、雨の中で集会の連続だ。18時からあんこる集会で

道路は人垣でぎっしりだ。結集は350名。最後に首相官邸前でシュプレヒコールをやり、全行動を終えた。

《行動予定》

- 26日（木）日教組緊急集会・デモ 17時45分 日比谷野音
- 27日（金）反戦共同行動など諸団体による国会集中行動（終日）
- 31日（火）反戦共同行動など諸団体による国会集中行動／全国連絡会の国会前集会 18～19時

「戦争国会」を打ち破るのは職場からの団結と反撃だ

11・5労働者1万人デモで世の中変えよう

戦争の危機が迫っています！ 安倍政権は、米のブッシュ政権と連携して、北朝鮮の核実験発表を機に朝鮮半島への侵略戦争に突入しようとしています。この戦争は、イラクへの戦争と同様に、アメリカの軍需産業や日本の大資本の利益を貫くための戦争です。とりわけ安倍政権は、これを機に憲法9条の撤廃に一気に踏み込み、核武装も検討課題などと言いつつ出しています。教育基本法の改悪も、共謀罪も、この戦争に労働者人民を総動員するためです。国会はまさに「戦争国会」です。

これを止める力は、全労働者の団結の中にあります。政府・自民党が日教組や自治労などの労働組合を名指して攻撃し、その解体を叫んでいるのは、労働者の団結した力が真に発揮されれば安倍政権などふつとぶこことを知っているからです。11・5集会こそ、この力を解き放つ場です。全国から大結集をかちとり、戦争国会を打ち破りましょう。

動労千葉など3労組が国会前で訴え 24日

●動労千葉

11・5集会に労働者は総決起してほしい。共謀罪、教基法改悪もすべての悪法が改憲のためという点につける。はねかえすためには労働者が団結して、闘って、怒りの声をあげることが必要。国鉄の分割・民営化も、中曽根がのうのうと言っているように、労働組合を解体して憲法を変えようと。その中心が総評であり国労。これが本質。その分割・民営化の象徴が1047名闘争。権力からみればまだこの問題が残っていて、闘い

の中心になっていることが大きな力になっていく。本当に解雇撤回を掲げて最後まで闘うことが、改憲情勢のなかで光り輝くものになると確信しています。11・5は日比谷野音をあふれさせる結集で、共謀罪・教基法改悪を粉砕する集会にしていきます。

●連帯ユニオン関生支部

東京の仲間が去年一年間で月平均400時間の労働を強制され、3月には月550時間にのぼる労働で健康を害し、職場を追放され、暴力事件をおこされている。この悪徳大資

11・5全国労働者総決起集会

日比谷野外音楽堂・正午開会



海外からのアピール

韓国から 民主労総ソウル本部

アメリカから

ILWU (国際港湾倉庫労組)

AMFA (ノースウエスト航空整備士労組)

●「日の丸・君が代」不起立被処分者の発言

呼びかけ 全日建運輸連帯労組関西地区生コン支部

全国金属機械港合同

国鉄千葉動力車労働組合



改憲・戦争と民営化は労働組破壊に立ち向かう労働者の国際的団結を

教育基本法の改悪をとめよう！ 11・12全国集会

11月12日(日)日比谷野音

13時開場 13時半開会 15時半デモ出発

呼びかけ人 大内裕和(松山大学) 小森陽一(東京大学)
高橋哲哉(東京大学) 三宅晶子(千葉大学)

主催 教育基本法の改悪をとめよう！全国連絡会

本に対して本日早朝より座り込みで抗議行動をたかっています。その一環として、今日の共謀罪反対闘争にも立ち上がりました。こんな労働者への悪法を作ろうとしている奴らに一泡ふかせてやらねばならない。私たちは昨年3月以降、4波にわたる政治弾圧を受けている。国家権力とマスコミ、大資本が一体となった攻撃に屈することなく、今日の闘いをともに闘いぬぐことで自らの生きざまを示したい。

●全国金属機械・港合同
共謀罪を追いつめた関東の仲間や関生の闘いに敬意を表します。現在国会では労働契約法という新たな法律が登場している。この法律は労働者の団結体というものが前提にされていない。そもそも労働者は圧倒的に使用者より劣勢にある。だから団結して組合をつくって対抗していく。労働組合法でも規定されている。共謀罪とはこの労働者が団結することを禁止するためにもちだされてきた法律。労働契約法と共謀罪は連動している。共謀罪が制定されていない中でも様々な刑事弾圧が労働者にかかっている。労働運動を闘うもの、団体交渉権を使うものはつぶす、というものだ。関生は激しい政治弾圧がかけられている。私たちも全力でともに反撃していく。